

プ チ ひがしやま petit

新年度になり、東山区社会福祉協議会にも新しい仲間がやってきました。
 新たなメンバーでがんばってまいります！どうぞよろしくお願いいたします。



日常生活自立支援事業『生活支援員』を募集します！

無料

■ 生活支援員 とは…

日常生活自立支援事業では、高齢の方や知的・精神に障害のある方など、ひとりで判断することに不安がある方の福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を、本人との契約に基づき支援しています。

生活支援員は、利用者のお宅などを定期的に訪問し、地域で安心して暮らせるよう支援をしています。生活支援員になるには、研修の受講と登録が必要です。

- 資格要件 ①概ね20歳～満75歳未満の方
 ②実際に活動できる方
 (月1回～週1回、1回30分～1時間半)
- 活動費 1,060円/h (交通費別途支給)

第1回「生活支援員養成研修」開催

■ 日時 令和7年6月9日(月) 9:30～16:15

- ① 9:30～12:20 動画視聴会
 (事前にオンラインで視聴した方は受講不要)
- ② 13:20～16:15 講義、グループ別懇談会

■ 場所 ひと・まち交流館 京都 3階 第5会議室

■ 申込〆切 6月2日(月)

詳細・申込はこちら
 ↓↓

■ お問合せ 京都市社会福祉協議会
 自立支援部 (TEL: 354-8734)



詳細は2次元コードよりご確認ください。
 今年度は下記日程にて開催予定です。
 ご参加お待ちしております。

令和7年9月25日(木)・11月26日(水)・令和8年2月9日(月)

東山区社会福祉協議会では、第4期東山区地域福祉活動計画の期間が昨年度末で終了することに伴い、今後の変化も見据えながら時代に即した新たな地域福祉の推進を計画的かつ具体的に示すことで、「だれもが安心していきいきと暮らすことのできる福祉のまちづくり」をより一層推進することを目指し、第5期東山区地域福祉活動計画を策定いたしました。

1 基本理念

すべての人が自分らしく暮らし続けるために、世代や背景を超えてお互いに認め合い、培った知識や経験を活かしてお互いに支え合い、地域の多様な主体がつながり合うことで社会から孤立せずに暮らすことのできる社会を目指し、「お互いを認め合い、お互いに支え合い、お互いが集い合える 心ゆたかな“ひがしやま”」を引き続き基本理念と位置づけ、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進いたします。

2 重点目標とアクション

基本理念を達成するために、4つの重点目標とそれに対するアクションに取り組みます。

重点目標 1

住民主体の地域づくり ＜地域支援＞

- ◇ 学区社協重点目標をもとにした主体的な学区社協活動の支援
- ◇ ボランティアグループや当事者団体との連携づくり
- ◇ 福祉分野を超えたネットワークづくり
- ◇ 災害に強いまちづくりの理解促進

重点目標 2

困り事を把握し寄り添う支援 ＜個別支援・権利擁護＞

- ◇ 一人ひとりの権利擁護の推進
- ◇ 制度の狭間にある生活課題の積極的な把握
- ◇ 重層的な支援体制の推進
- ◇ エンパワメントの可能性を引き出すソーシャルワークの実践

基本理念

お互いを認め合い、お互いに支え合い、
お互いが集い合える、
心ゆたかな“ひがしやま”

重点目標 3

誰もが参加・参画できる仕組みづくり ＜仕組みづくり＞

- ◇ 地域のニーズに応じた多様な居場所の展開
- ◇ 誰もが安心して参加・参画できる場づくりの充実
- ◇ 地域住民の参加の機会の拡充

重点目標 4

組織の強化 ＜人材・基盤＞

- ◇ 担い手づくりの充実(確保・育成・定着)
- ◇ 地域活動の発信の強化
- ◇ 開かれた事業運営と持続可能な財政基盤の保持

～東山区社協の近況をご報告～ 会員団体の部会を開催しました

東山区社会福祉協議会は、学区社協や民生児童委員会をはじめ、行政機関や共同募金会、区内の社会福祉施設・社会福祉関係団体等の会員団体の皆さまにより構成されています。今年度は本会役員等の一斉改選に伴い、4月に部会を開催し、次期理事・評議員等の候補者選出と意見交換を行いました。



意見交換では、各会員団体の活動状況や課題が共有されました。今回いただいた意見も踏まえて、本



会では引き続き会員団体の皆様をはじめとする関係機関との連携のもと、地域福祉の推進に取り組んでまいります。

新規会員にご入会いただいた皆様をご紹介します

○ 東山区まちじゅう図書館プロジェクト

本をきっかけに人と地域がつながることを目指し、区内に私設図書館を設置する活動に取り組まれています。今熊野の「ルーミー図書館」、やすらぎ・ふれあい館の「ひだまり図書館」をはじめ、現在5拠点で活動中です。



Instagram

○ ケアセンターいまくまの (高齢者施設)

今熊野北日吉町にて、グループホームや小規模多機能型居宅介護事業所を運営されています。利用者の方が住み慣れた地域で暮らし続けられることを目指し、支援に取り組まれています。



特集

学区社協の取組

弥
栄
学
区

弥栄学区お買い物CAR 運行中♪

リレー企画
です!

弥栄社会福祉協議会では、京都生協と協力し、移動販売「弥栄学区 お買い物CAR」を実施しています。この取組は、近くにスーパーが少なく買い物に行きづらい方も商品を直接手に取って選ぶことができると好評です。

また、月1回の健康すこやかサロンの開催日

(木曜日・不定期)には、多くの参加者が野菜やお惣菜、お菓子などを買って帰ります。

買い物を通じて、他の利用客とコ



ミュニケーションをとったり、近所で声をかけ合ったりできる関係づくりや、介護予防の第一歩になるよう取り組まれています。



日時：毎週木曜日 11時ごろ～

場所：漢字ミュージアム内

「弥栄ふれあいサロン」前

対象：弥栄学区にお住まいの方

その他：お支払いは現金のみです。

エコバッグをご持参ください。

弥栄学区お買い物CARや健康すこやかサロンに関心のある方は、
ぜひ東山区社協までお問合せください。(TEL:551-4849)

～東山区の地域支え合い活動をご紹介します～ 「なんてんカフェ」にインタビュー！

六原学区の北御門町にて、月曜日～土曜日の午後とほぼ毎日開かれている地域の居場所「なんてんカフェ」。地域の憩いの場となっています。



時には観光客が立ち寄られることもあるそうで、毎日笑い声が絶えません。

なんてんカフェが始まったきっかけは、町内会で所有する家屋をゲストハウスにするという話が立ち上がったこと。「ここを地域の人々が気軽に集える場所にしよう！」との思いから、たくさんの人たちが協力し、この取組が始まりました。建物が面する路地にはなんてんの木が植えられていることから「南天路地」と名付けられ、このカフェもその路地名にちなんだ名前になったそうです。

なんてんカフェの入口には、京都美術工芸大学の学生が制作した素敵な看板も。ぜひ一度足を運んでみませんか？



運営者の田中さんにお話を伺いました

Q. なんてんカフェに携わるようになったきっかけは？

⇒ 両親のケアが終わり、時間ができたことと誰かにつながりたいと思っていたところ、声を掛けてもらい関わることになりました。区社協や区役所にも相談をしながら、協力してなんてんカフェを立ち上げました。

Q. 参加される方にメッセージをお聞かせください。

⇒ いつもありがとうございます。いつでもまた顔を見せてくださいね。

参加される皆さんの声

- 毎日来ています。
- 一人で家にいるより、みんなと話したい。
- ここに来るのが楽しみ。ほっとします。

日時：毎週月～土曜日 13時～16時
対象：どなたでも参加可、出入自由
費用：コーヒー1杯 100円
申込：不要
問合せ：551-4849（東山区社会福祉協議会）

東山区地域支え合い活動入門講座 を開催します！

無料

■ 地域支え合い活動 とは…

自分の好きなことや得意なことを活かした取組、ちょっとした困りごとのお手伝いや地域の中でのボランティアなどを通じ、高齢者を支える活動です。

東山区には、生活のお手伝いをする活動や、カフェをはじめとした気軽に参加できる居場所づくりなど、さまざまな支え合いの取組があります。この講座では、実際に地域で活躍中の活動者をゲストに招き、活動の楽しさややりがいなどについてお話を伺います。

■ 日時 令和7年6月26日(木) 10:00～11:30

■ 場所 東山老人福祉センター（東山区総合庁舎南館地下1階）

■ 対象 支え合い活動に関心のある方

■ ゲスト講師 ① ガーデン de ひがしやま メンバー
（菜園ボランティアグループ）
② 歴史講座 講師ボランティア
（昨年度入門講座受講生）

■ 定員 15名（先着順）

■ 申込〆切 6月24日（火） 詳細・申込は→こちら→

■ お問合せ 東山区地域支え合い活動創出コーディネーター※
（TEL：551-4849 東山区社会福祉協議会内）



地域支え合い活動が気になる方、地域でちょっとした活動を始めてみたい方、
ぜひご参加をお待ちしております！

※京都市が、地域で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービスの創出や担い手の養成、ネットワークの構築を目的として各区社会福祉協議会に配置しているコーディネーターです。

